

将来の私の夢

八南小・6

北嶋 千愛

キューインキューイン何かをけずる音がこわかった。苦い薬のにおい、それもいやだった。歯医者さんのいろいろな道具を見るだけでこわかった。月に一回だけ行く歯医者さんは、とてもいやで行く前に泣いてしまったこともあった。歯医者なんてなくなればいいのにと何回も心から思った。でもそんな歯医者さんになることが私の将来の夢。

私が歯医者さんになりたいと思った理由は、お母さんが

「千愛が楽しく通える歯医者さんがあったらいいのね。」

と言う言葉がきっかけだった。私が歯医者さんがきらいだった分、子供がこわがらない、いやではない、通うのが楽しみになるような歯医者さんになれる気がした。

夢が叶った自分は、できるだけかんじゃさんがこわい思いや心配をしないように、歯医者さんに楽しい明るい音楽をかけよう。明るいふんい気にするためにお花をいっぱいかぎって苦い薬のにおいも消えるといいな。こわい道具もギラギラした銀色ではなくて、カラフルな物だったらいいな。さらにこわそうな道具には、楽しそうなイラストや、目のシールをはったら面白いかもしれない。私の洋服も白衣ではなくて、明るい色にして動物の耳をつけたら子供が思わず笑ってくれるかもしれない。歯医者さんのちりようするベッドをたおしたら、天井にテレビがついてたらベッドにねころがってくれ

るかな。ちりよう中少しでも楽しくできるように、いつもかんじゃさんのために、いろいろ考えている歯医者さんに私はなりたい。子供だけではなく、小さい子からおじいちゃん、おばあちゃんまで安心して通ってもらえるように、かんじゃさんみなとたくさん話をしてかんじゃさんとつくりあげていく歯医者さんにしたい。

そして歯科衛生士のお母さんをやとつてあげよう。今は私がお母さんの言うことを聞いているけど、私の歯医者では院長の私の言うことを聞いてもらおう。それもまた楽しみだ。歯医者さんになって、地域の人とつながって、

「ありがとう。」

とたくさん言われる歯医者さんになれたらカッコいいな。

夢を叶えるためには、なかなか難しいかもしれない。でも私は、あきらめたくたいから今からがんばって勉強して、少しずつでも自分の夢に近づけるように努力をしていきたい。あとは、難しくてもあきらめない、自分を信じる気持ちを大切にしていきたい。

もし、夢が叶ったならたくさん自まんしてたくさんの人にほめてもらおう。天国のおばあちゃんだって、きっといっぱいほめてくれるだろうな。そんな日が来るのを楽しみに、つらいことも乗り越えていこう。

あんなにきらいだった歯医者さんが今の私の夢。不思議だけど、面白いな。

さあ夢を叶えるためにがんばろう。